

取扱いの趣旨

モサプリドクエン酸塩（商品名：ガスモチン錠等）の効能・効果は「慢性胃炎に伴う消化器症状（胸やけ、悪心・嘔吐）」であり、慢性胃炎の症状に直接適応があると判断できる。したがって、慢性胃炎に対する当該医薬品の特定疾患処方管理加算2は認められる。

支払基金が公表している取扱いの全文

【投薬】

《令和2年7月27日》

27 モサプリドクエン酸塩の効能・効果である慢性胃炎に伴う症状の改善に対する特定疾患処方管理加算2の算定について

○ 取扱い

モサプリドクエン酸塩（商品名：ガスモチン錠等）の効能・効果である慢性胃炎に伴う症状の改善に対する特定疾患処方管理加算2の算定は認められる。

○ 取扱いを作成した根拠等

モサプリドクエン酸塩（商品名：ガスモチン錠等）の効能・効果は「慢性胃炎に伴う消化器症状（胸やけ、悪心・嘔吐）」と添付文書に記載されている。

慢性胃炎に伴う消化器症状（胸やけ、悪心・嘔吐）は、消化管運動を活発化させる神経伝達物質であるアセチルコリンの分泌により、症状の改善が図られる。

モサプリドクエン酸塩の作用機序は、選択的なセロトニン5-HT₄受容体アゴニストであり、消化管内在神経叢に存在する5-HT₄受容体を刺激し、アセチルコリン遊離の増大を介して上部及び下部消化管運動促進作用を示すと考えられている。

よって、本剤は、慢性胃炎の症状に直接適応のあるものと判断できる。（胃の粘膜に作用して種々の症状を改善する。）

また、平成16年7月7日付け厚生労働省保険局医療課事務連絡「疑義解釈資料の送付について」において、「特定疾患に対する薬剤を投与したときの45点の加算は、特定疾患に直接適応のある薬剤の処方の場合のみ算定できるのか。」の問に対して、「そのとおり」と回答されている。

以上のことから、モサプリドクエン酸塩の効能・効果である慢性胃炎に伴う症状の改善に対する特定疾患処方管理加算2の算定は認められると判断した。

グラフの見方

1 棒グラフ（該当レセプトの審査結果）

モサプリドクエン酸塩（ガスモチン錠等）を算定しているレセプト1万件当たり、条件（慢性胃炎に対してモサプリドクエン酸塩以外の投薬がなく、特定疾患処方管理加算2を算定）に該当するレセプト件数

2 折れ線グラフ

該当レセプトのうち、特定疾患処方管理料2が
査定・返戻となった割合

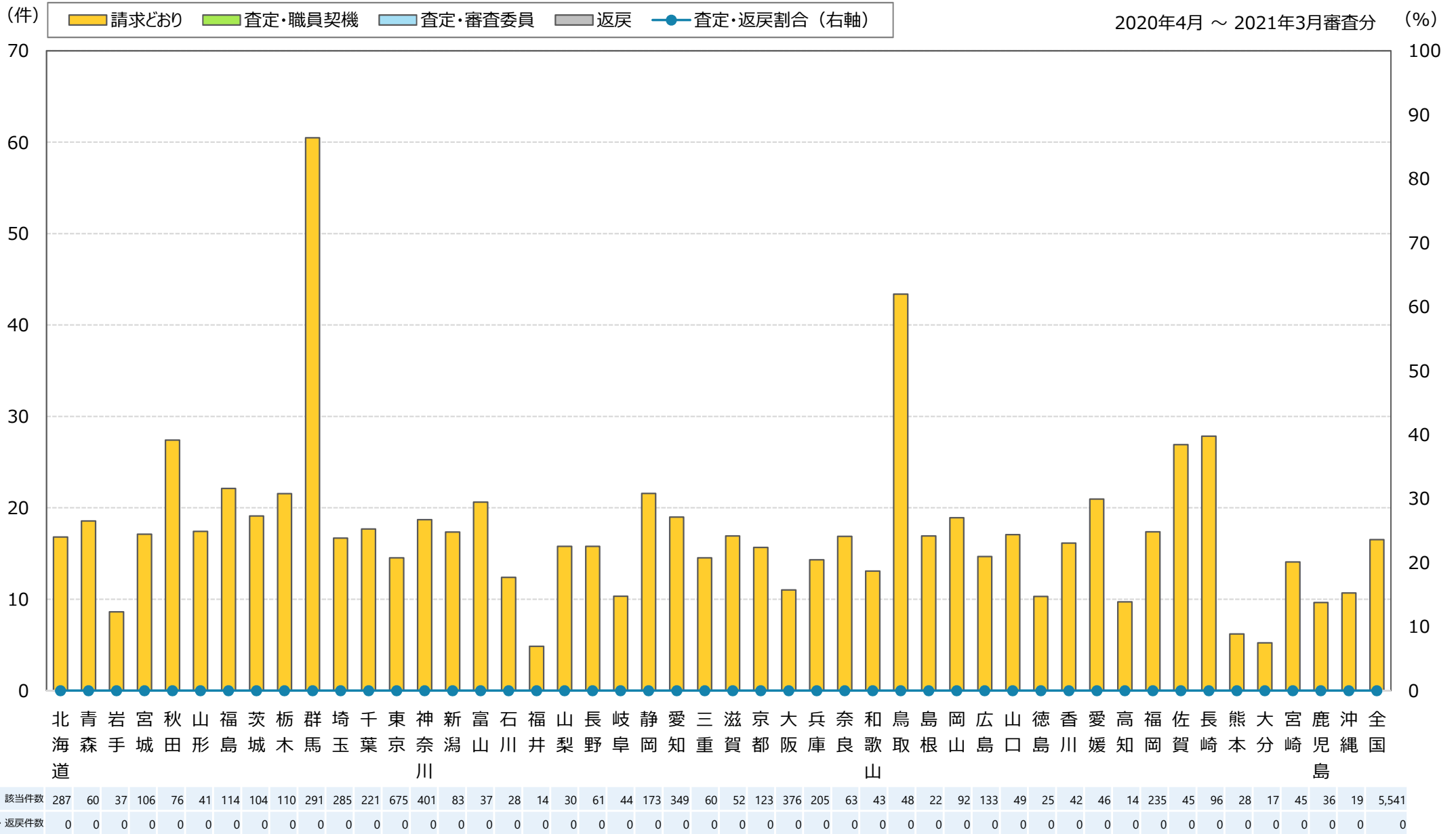
【棒グラフ凡例】 審査の結果

請求どおり			: 取扱いどおり
査定 審査委員	査定 職員契機	返戻	: 検証が必要

審査結果の概要

➤ 該当レセプトはすべて取扱いに基づく審査が行われている

検証観点	特に検証を要する支部	備考
査定・返戻割合が高い支部	－	
査定・職員契機	－	
査定・審査委員	－	
返戻	－	
該当件数（全国）	慢性胃炎に対してモサプリドクエン酸塩以外の投薬がなく、 特定疾患処方管理加算2を算定	5,541件
取扱いに基づく審査	請求どおり	5,541件
検証を必要とする審査	査定・返戻の計	0件



【該当件数】モサプリドクエン酸塩（ガスモチン錠等）を算定しているレセプトのうち、慢性胃炎に対してモサプリドクエン酸塩以外の投薬がなく、特定疾患処方管理加算2を算定しているレセプト件数